



磯の水族館を作ろう！



みんなで水槽を作りながら海を再現

水槽のレイアウトをしながら、海の生物の生態について考えることができます。p. 30の磯の観察会の後などに行うと海に対する理解をさらに深めるきっかけになります。

対象 幼児～大人
場所 磯
時間 1時間 ※春～秋の大潮前後

2. 準備の前に...

1. 用意するもの

- ①磯の生物や岩・海藻
p. 30のプログラムなどで採取
- ②透明のコップ
- ③大きめ水槽(45cm以上)
- ④エアレーション装置
- ⑤画用紙
- ⑥マジックペン
- ⑦机
- ⑧磯の生物図鑑

※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



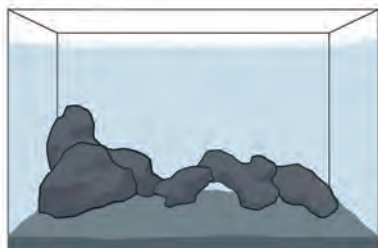
2. 事前の準備

3つの水槽

・プログラム実施前に、磯の3つの環境を再現した水槽を用意します。

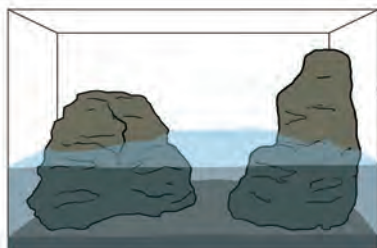
を用意しよう

・水槽にはそれぞれの環境を代表する素材を入れ、参加者がイメージしやすくしましょう。



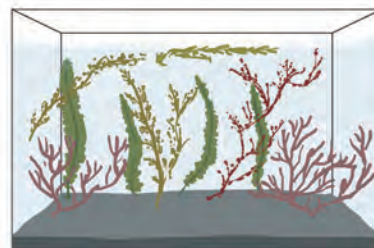
①タイドプール水槽

- ・水中の磯の世界を再現する水槽
- ・海水を多めに入れて石を沈める。



②岩場水槽

- ・水上に突き出た岩場を再現した水槽
- ・岩場が水面に出るように海水を入れる。



③藻場水槽

- ・海藻が茂った環境を再現した水槽
- ・水中に見つけた海藻を入れる。

プログラムの本番！

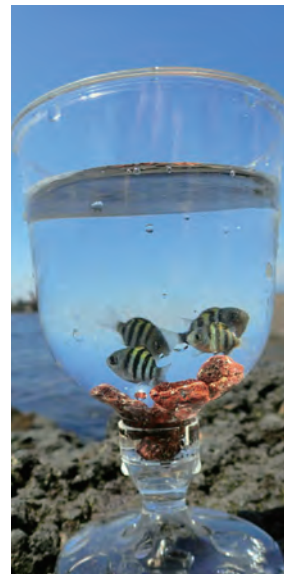
1. 自分の海を作ろう(約20分)

参加者の集めた生物を使って、コップに海の箱庭を作ります。
各自にコップを配布して自由にレイアウトしてもらいましょう。

コップに生物や素材を入れすぎるときれいにできません。
それぞれ大事にしたい生物を決め、その生物を中心に海を再現しましょう。

実施中、素材が足りなくなったら磯に材料を採りに行きます。
スタッフは参加者の状況を把握できるようにしましょう。

自身の作品が出来た参加者はコップ水槽を机に置き、画用紙に
タイトルを入れて展示します。



2. 大きな水槽をレイアウト(約20分)

コップ水槽が出来たら次は残りの生物を入れたバケツを持って、
準備した3つの水槽(タイドプール、岩場、藻場)の前に参加者を
集合させ、残った生物を振り分けてもらいます。

この時、捕まえた生物がどの環境にいたかを思い出したり想像
しながら入れてもらってください。

※同種の生物が多すぎる場合はスタッフが海に帰してあげましょう。



3. 水族館を楽しもう(約20分)

準備が出来たら水族館をみんなで楽しみましょう。観賞前に
スタッフから集まった生物の紹介を3つの水槽を使って行うと
より興味を持って観賞できると思います。

最後にコップ水槽の共有をしながら、磯の生態系について
考えてもらいます。



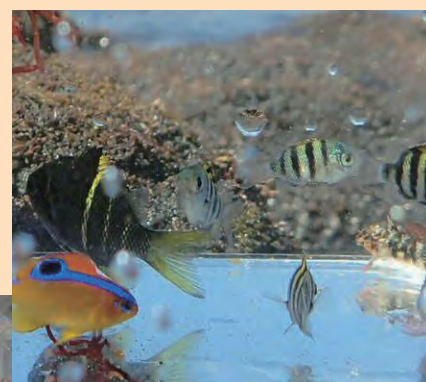
ココがポイント

混泳はほどほどに

採集中のバケツや水槽に生物を入れすぎると酸欠になります。入れすぎ
ないように注意し、展示の際は必ずエアレーションしましょう。また魚類
と甲殻類を一緒にしておく、どちらかが食べられてしまうことがあるの
で注意しましょう。

水質の変化に注意

海の生物は暑さや水質の変化に敏感です。
大きな水槽の温度が上がりすぎてしまう
場合は定期的に水を入れ替えて水温を保
てるようにしましょう。



日向に水槽を置く際は水温が上がりやすいので、こまめに水槽の様子を確認しましょう。